



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



阿賀小からオリンピック選手を！

この度、阿賀体育協会から、「阿賀地区ロードレース大会」に是非振るって参加してほしい旨のご案内をいただきました（令和5年1月15日開催）。コロナのため、3年ぶりの開催となる予定です。

このことを受けて、体育の授業等でもしっかり持久走に取り組み、できるだけ多くの5、6年生が進んで参加するよう、働きかけて参りたいと思います。このことがきっかけとなって、自身の可能性を見だし、将来、この阿賀のまちから、オリンピックランナーが生まれてくれることはありませんね。

子ども1人1人にどんな可能性が秘められているのか・・・？メキシコオリンピックのマラソンで銀メダルに輝いた君原建二（きみはら けんじ）氏は、小さいときからかけっこが苦手だったそうですが、あるときたまたま参加した持久走大会で勝ち、長い距離を走る喜びに目覚めたそうです。人間、何がきっかけで人生が変わるか分かりませんね。

そんなことを考えると、子どもたちに様々な経験の機会を用意するのが、大人の大きな役目の1つのような気がしてなりません。

この「阿賀地区ロードレース大会」もそういう機会の1つになればと思います。

ちなみに、阿賀出身等で陸上競技で名を馳せた人としては・・・。

「呉スポーツ 100 年史」 呉市体育協会より抜粋



平石勝典（ひらいし かつのり）選手（阿賀小出身）：全日本ジュニア陸上競技大会で中学新記録（10秒9）を出して優勝しました（1973年）。私も阿賀小の低学年のとき、全校朝会で当時高学年だった平石氏が模範で走る様子を見学した思い出があります。



采谷義秋（うねたに よしあき）選手：広長浜出身ですが、呉市出身のマラソンのオリンピックランナーと言えば、采谷選手です（1972年ミュンヘンオリンピック出場）。